

国際ロータリー第2800地区 第5ブロック
山形中央ロータリークラブ 2025-2026

CLUB NEWS

Weekly Report Yamagata Central

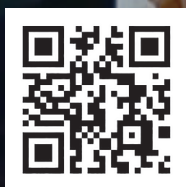
2025
10

No.1406-1408回

毎週火曜日
12:30～13:30
(但し第5週は18:30～)

特集

- ◆ ゲスト卓話 ガバナー：酒井 彰
- ◆ 鹿児島城西RC来訪歓迎会
- ◆ そば例会
- ◆ 会員情報／ニコニコBOX



山形中央ロータリークラブ
<https://ycrc.sakura.ne.jp>

第1406回 [2025.10.7 12:30／ホテルメトロポリタン山形]
◆ソング／国歌・四つのテスト ◆会員総数／36名 ◆出席会員数／22名
第1407回 [2025.10.24 18:30／ホテルメトロポリタン山形]
◆会員総数／36名 ◆出席会員数／23名(+鹿児島城西RC6名)
第1408回 [2025.10.28 18:30／鉄一会館]
◆会員総数／36名 ◆出席会員数／20名

よいことの
ために
手を取りあおう



2025.10.7(火)

講演テーマ

「喜寿の馬鈴を振り返って」

プログラム委員会 阿部美春

私が2015-2016年度ガバナーをされた酒井彰さんへ卓話をお願いした理由は、ガバナーをされたからではありません。酒井彰さんの行動力、知識、言葉の豊富さには、お話をお聞きするたび学びや気づきがあり、「もう一度、話を聞いてみたい」と思わせてくれる人だからです。

演題は「喜寿の馬鈴を振り返って」ということで、その年齢でなければ言えないこと、酒井彰さんが見てきた人生という景色のお話をお聞きすることができました。特に印象に残った言葉は「縁」と「運」です。人生を歩むなか、縁や運はつきものです。そして選択の結果が人生を決めていきます。卓話の中では、転機の場合における人との縁、そしてチャンス、運が良かったという話をされました。

作家の五木寛之氏が人生のピークから下山する時の景色を書いた文章があります。下山は、登

山に比べて寂しげな印象があるかもしれませんが、下山にこそ、自分の人生をより豊かなもの、より幸福なものにするための本質的なものがあり、過去を振り返り、回想することは、むしろ下山の醍醐味だとしておりました。つまり、登る時には、脇目もふらず、後ろも振り返らず、必死に上へ、上へと登っていきます。だからこそ、山を下りる時は、自分の歩んできた道や下界の景色、自分が立った頂上などをのんびりと眺めながら下っていくことで、登りでは気づかなかったこと、見えなかったものが見え、それが人生を豊かなものにしてくれるのではないのでしょうか、と。

ふと、下山しながら、私が見たい景色はどんなものかと思いました。振り返るならば、今、目の前に浮かんでくるのは両親はじめ、これまで出会った多くの人たちの顔です。人との縁に感謝せずにはられません。人生も仕事もご縁の積み重ねなのだと、つくづく感じました。

【会長挨拶】 ノーベル賞

昨日から発表が始まりましたノーベル賞についてお話をさせていただきます。

ノーベル賞の受賞者でロータリークラブ自体ではノーベル賞受賞者を会員や名誉会員として輩出しているという事実があります。例えば、2022年に物理学賞を受賞したアントン・ツァイリッガー氏、2021年に化学賞を受賞したベンジャミン・リスト氏。彼らは現役のロータリー会員です。過去にも、マルコーニ（物理学賞）、ウィルソン（平和賞）、トーマス・マン（文学賞）など、多くの受賞者がロータリアンでした。ロータリーの「超我の奉仕」の精神と、ノーベル賞の「人類への貢献」という精神は、根底で深く繋がっていると言えるでしょう。

ノーベル賞は、人類の進歩と平和を願う、壮大な理想の結晶です。私たちロータリアンの活動もまた、地域社会、そして世界の平和と発展に貢献するものです。皆様も、日々の活動の中で、ノーベル賞を目指してみたいはいかがでしょうか。





【会長挨拶】 新そばを囲む

すっかり秋も深まり、心地よい季節となりました。この時期ならではの豊かな実りの恵み、そして何よりも「新そば」を、クラブの仲間たちと共に分かち合えることを、大変嬉しく思っております。

この素晴らしい会を滞りなく開催するにあたり、多大なご尽力をいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。そして毎年この会で、格別の新そばを打って提供してくださっている丹野さん、長谷川さん、心より御礼申し上げます。皆様の愛情と、熟練の技が詰まったお蕎麦を、会員一同、心待ちにしておりました。

ロータリー活動において、「親睦」は「奉仕」の基盤です。私たちは、社会への奉仕という崇高な目標に向かっていますが、そのエネルギー源となるのは、まさにクラブ内の強固な友情と信頼です。

どうぞ皆様、本日は日頃のロータリー活動の労をねぎらい、美味しい新そばを囲みながら、肩の力を抜いて、和やかな語らいのひとときをお過ごしいただきたいと思います。



鹿児島城西ロータリークラブ来訪歓迎会



▲ 鹿児島城西RC:上之園会長挨拶



ホテルメトロポリタン山形



【会長挨拶】 偉人から学ぶこと

秋といえば、実りの季節であり、また、物思いにふける「読書の秋」でもあります。私事になりますが、この季節になると、ある一人の偉大な旅人の足跡を辿りたくなります。

それは、元禄の世に「奥の細道」を辿った俳聖、松尾芭蕉であります。

山形は、芭蕉にとって、厳しい自然の中で感性を研ぎ澄ませる場所であり、同時に、心優しい人々の友情に触れる安らぎの地でもありました。

この「奥の細道」の旅路から、私たちが学ばべきことは、「地域とのつながり」の重要性です。

ロータリークラブは、地域社会の二の足に耳を傾け、その力強い流れをより良く導くために活動しています。芭蕉が山形の自然と人に深く学び、その経験を句に昇華させたように、私たちも、この山形の地で、地域の文化や歴史を大切に、皆様との温かい交流の中で奉仕の理想を实践してまいりましょう。



企業創立記念日&お誕生日&その他イベント



お誕生日
相川博昭さん
二瓶正道さん

企業創立記念日
三井住友会場火災保険(株)
明石昌樹さん

山形市内 2025/10/19(日)
7RCゴルフコンペ 総合6位



おめでとうございます!

2025/10/25(土)
清掃例会



【今月のQ&A】

Q

- 1 座右の銘
- 2 好きな食べ物
- 3 嫌いな食べ物
- 4 最近嬉しかったこと
- 5 RCに入会して「よかった!」と思うことは?
- 6 あなたにとっての例会とは?
- 7 当クラブの良いところ
- 8 RCを漢字一文字で表すと?

A 佐藤 太

- 1 不撓不屈
- 2 ハンバーグ
- 3 パクチー
- 4 RC会員が増えたこと
- 5 異業種の方々(先輩方々) 出会え色々なお話が聞けること
- 6 交流の場でもあり知識や情報を得られる場所
- 7 皆さん和気藹々と話せるところ
- 8 「絆」

A 奥山 宏

- 1 努力は、人を裏切らない。でも、時々裏切る。
- 2 豆大福
- 3 秋は、佐和庄のあまり上品でなく、田舎らしいところが、たまらない。
- 3 脂身
- 4 これ以上私には必要ありません。脂身は敵です。
- 4 最近、ひざの半月板損傷、前歯が折れたこと、友人、親友、との別れなど嬉しいことがあります。これからを期待しています。沢山嬉しいことが来るようです。整理券が必要かな。
- 5 アメリ力的思考に、違和感を覚えています。それ以上に、私の人生を、いろんな意味で豊かで潤いのあるものにしています。
- 6 魅力的で、刺激手で、危険な時間です。
- 7 年齢に関係なく、バリバリ仕事をして魅力的な人にあふれていること。
- 8 「魅」

Q

A



2025.10.7

酒井彰 / 卓話お声がけいただきありがとうございます。もう少し時間があればもっとお話いたします。

本間雅之 / 酒井様 本日は卓話ありがとうございました。

米野崇仁 / 本日より、山形中央ロータリークラブに入会することとなり、大変うれしく思います。これからよろしくお願いいたします。

明石昌樹 / 酒井さん、本日は臨場感のある話ありがとうございました。急な依頼を引き受けてくれロータリー卓話の危機を救ってくれて感謝します。

編集後記

今月は毎年恒例の蕎麦例会がありました。手打ち蕎麦は、多くの手間と時間がかかるものです。粉の材料にこだわり、つけ汁の味に気を配り、水回し・こね・延し・切りの工程に真心をもって丁寧にむきあって打たれた蕎麦は、唯一無二の逸品となります。準備に携わって下さったメンバーに心より感謝致します。

丹精込めて打った蕎麦 野趣口中に広がる

はすむ会話に笑い声 せいしゅう(盛秋)蕎麦に集う 心がこもった一杯は

わすれられないクラブの味 友情の味